



ゼミ合宿での記念撮影

3年次のゼミ活動では、学術論文を一つ選び、その論文の主旨や研究史における意義などについて発表しました。それまでは論文や作品研究史について深く考えたことがなかったので、ずいぶんと苦戦しましたが、広いテーマに対する考察の方法を学ぶことができました。大人数の前で発表や質疑応答をした経験は、教育実習の授業実践でも生かされたと思います。

授業時間以外にも多くの思い出があります。たとえば、毎年恒例の合宿では懇親会やバレーボール大会などのイベントがあ



文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。

充実したゼミ活動

大学に入学してから最も楽しみにしていた授業が、3年次から始まるゼミナールでした。ゼミ選びの参考になればと思います。1・2年次にはゼミを担当されている先生の授業を中心に履修しました。しかし、どの時代の文学作品にも興味を湧いてしまい、ゼミを決める段階では非常に迷ってしまいました。希望票提出の30分前まで迷い、最終的に近現代文学の研究をされている宇佐美先生のゼミに入りました。



ゼミ合宿でのディベート大会の様子

り、目まぐるしくも1年のなかで最も楽しい行事です。バレーボールでは宇佐美先生が無敵の強さを誇っており、先生に勝つことを目標にゼミ生が一丸となって挑みます。

また、宇佐美ゼミでは3年生の係が中心となって年度末に報告集を発行しています。私は全体の統括を担当しました。印刷所や教授、係のメンバーとそれぞれ連絡を取りながら作業を進めていくのは予想以上に大変で、報告集にも何力所かミスがありました。予算や日程といった全体のことを考えながら自分の仕事もこなすという、社会人にとって必要な力が足りていないことを痛感しました。学生のうちにこのような経験ができてよかったです。

**さまざまなことを学んだ
大学生活**

なかそねあかね
中曽根 茜

文学部人文社会学科国文学専攻4年
東京都立日比谷高校出身



「身体文化と歴史」という授業(2015年度前期)で車いすバスケツボールの上村知佳選手がいらした際に、シドニーパラリンピックの銅メダルをお借りして撮った写真

2017年度はゼミ長になったので、今まで以上に積極的に発言するようになっています。卒業論文では戦後の作家である坂口安吾を扱っています。2016年度のゼミで学んだ先行研究の調べ方や考察の仕方を生かして、4年間の集大成となるようにしたいと考えています。

サークル活動で得たもの

私は二つのサークルに所属しています。そのうちの一つは、白門祭実行委員会事務局です。私は事務局のなかで、パンフレットやポスターを作成する編集部に所属しています。2年生が中心となつて活動する部局のため、2年次の夏や入稿前の10月は特に忙しく大変でした。しかし、必要な情報をわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか考えながら制作物を作るといふ、よい経験を積むことができ、ゼミでの報告集作りにも役に立ったと思います。自分たちの仕事が形として残ることもうれしかったです。さまざまな学部や学年の人たちと協力しながら、白門祭という大きなイベントを運営する経験や、うまくいったときの達成感は、ほかでは得がたいものだと思います。もう一つは文学会という、作家や翻



第50回白門祭実行委員会編集部記念撮影

訳家の方をお招きして講演会を行うサークルです。3年次には副会長として運営に携わりました。学外の方とやり取りするのはとても緊張しましたが、憧れの作家さんと打ち合わせなどでお会いすることができ、充実した時間を過ごすことができました。

最後に

今回、原稿を書くために大学生活を振り返ってみました。本当にさまざまなことに取り組んだなと思います。いつも周りの人たちが助けてくれたお陰で、充実した学生生活を送れたことに感謝の気持ちでいっぱいです。大学で学んだことを糧に、卒業後も多くのことに挑戦していきたいです。

文学部の資格課程について

文学部事務局

野沢拓矢のざわたくや



From the Faculty of Letters 文学部だより

11月
月は白門祭で盛り上がった後、少し落ち着いてくるころですね。12月に入ると試験準備に入りますので、この時期は春休みの予定や次年度やりたいことの準備を始めるには適した時期であると思います。そのため、今回は次年度の準備に向けて、文学部が設置している資格課程についてご紹介したいと思います。

文学部には4つの資格課程を設置しており、事前の申し込みが必要です。「教職課程」は7月または3月に登録手続きを済ませると、翌学期から履修することができます。ほかの「学芸員課程」、「社会教育主事課程」、「司書・司書教諭課程」の3課程は、1〜2月ごろの募集期間に申し込みをした後、選抜試験で合格すると、次年度からそれぞれの課程を履修することができます。

各課程は、大学に設置している定められた科目を修得することによって、卒業と同時に、資格の取得に必要な科目の単位を修得したことを証する「修了証（※教職・司書教諭課程は除く）」を授与します。

就職先でみると、近年は即戦力が求められるなどの情勢により、専門性を高めるために大学院への進学が必要であったり、公務員になつてから資格が役立つ担当になるなど、教員以外の資格では、学部を卒業してすぐにその職に就くことが難しい状況です。

この資格課程に限りませんが、プラスαの強みを持てるように、今ある時間を使って、春休みのうちに次年度や将来について「子女と話し合ってみるのはいかがでしょう。もちろん大学全体としてもサポートして参ります。